

釧路港発 海と街をつなぐ「コンブの森」地産地活プロジェクト

ー釧路ガス株式会社・株式会社JBPー

プロジェクト概要

構想

釧路エリアで都市ガス事業を営む性格から地元への貢献は他産業より思いが強く、様々な脱炭素関連の取り組みを行い釧路市のゼロカーボンの取り組みに貢献したい。

実行

2023年5月に「釧路ガス昆布の森」構想を発表し、釧路市から釧路港西港区第4埠頭付近の海域を借り、ロープ方式の昆布の森を造成することを決定した。

ブルーカーボンを創出し、地元イベントや施設でのオフセットを図りJ-ブルークレジットの「地産地活」を図るとともに、次世代を担う子供達へ本プロジェクト・ブルーカーボンへの理解を深めていただく。

環境教育の実施

- ・ 2024年12月に「環境問題を“自分ゴト”に」をテーマに地元の小学生を対象とした参加型環境教育を実施した。
- ・ 2026年度も継続した授業を実施し、環境問題に対して、ブルーカーボンという解決策から藻場の育成・成長という一連の流れを横断的に学習することで、より子供達の理解を深める取り組みを行う。

今後に向けて

- ・ 2025年度は、釧路市東部漁業協同組合が地域で初めて創出したJ-ブルークレジットを購入し地元のイベントでオフセットを行った。
- ・ 今後も同様に地元のイベントでオフセットを図るとともに、施設のエネルギー使用分のオフセットなど地域の脱炭素を積極的に推進していく。



授業の様子



育成したコンブ



くしろ港まつりパレード
(パレード開催分に関わるCO2をオフセット)